

2021年度入学式祝辞

本日、この春の良き日に大阪成蹊大学の各学部並びに大学院にご入学された新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

また、本日の入学式を挙行するにあたり、コロナ禍のただなか只中にも関わらず学園の関係団体の役員の方のご臨席を賜っており、誠に有難く厚く御礼申し上げます。

私は、新入生の皆さんが本日入学された大阪成蹊大学が所属しております学校法人大阪成蹊学園の理事長・総長を勤めております石井でございます。そこでまず学園にとって最も大切な「建学の精神」と「行動指針」についてご紹介をしたいと思います。

「建学の精神」というのは、学園創立時に示された創立の基本理念であります。私立の学校法人にとっては、一番大切な教育方針であります。

お手元に「建学の精神」のリーフレットをお配りしておりますのでご覧ください。

そこには「桃李不言下自成蹊」と書かれていますがこれが本学の「建学の精神」です。この言葉の意味は「桃や李は何も言わない

が、その美しい花や実に惹かれて多くの人が集まってくる、そしてその木の下には自然に蹊(こみち)ができる。」というものです。これを人に置き換えますと、徳や能力のある人のもとには、自然に多くの人々が集まって来て繁栄するという意味です。これは紀元前、中国の前漢時代に生きた歴史家「司馬遷」によって書かれた「史記」の一節にある言葉で、当時の「李広」という將軍を褒めたたえた言葉です。李広將軍は「不言」すなわち口数の少ない人で美辞麗句など多くを語ることのない人であったけれども、人望が厚く人々は喜んで彼のもとに馳せ参じて戦ったとされています。

大阪成蹊学園ではこの「桃李不言下自成蹊」を建学の精神とし、「成蹊」を学園名として、人望が厚く、人が頼りにして集まってくる、その様な「人間力」のある人を育てることを教育目標としています。また本学園では建学の精神を実践するために「忠恕」という言葉を行動指針としています。「忠恕」とは「論語」にある孔子の教えの基本となる言葉で「常に真を尽くし、他人の立場に立って考え行動する」という意味です。夏目漱石は「草枕」の中で「智に働けば角がたつ」「意地を通せば窮屈だ」「とかくこの世は住みにくい」と

言っているように、世の中には相互の理解不足のため、人間関係が円滑に進まず、仕事が上手く進まない例はたくさんありますが、この「忠恕の心」の裏づけさえあれば智も意地も人の心に素直に収まるものであり、「忠恕」こそが人間関係を良くし組織や社会を良くするための要諦であります。大阪成蹊学園では全ての教育活動がこれら建学の精神や行動指針に基づいて行われていますので入学に当たりよく理解しておいてください。

それでは、この李広將軍のように人から頼りにされ慕われる人間になるために私達はどうすればよいのでしょうか？

本学では人間力を構成する様々な要素を分析し、「LCD 教育」というプログラムを開発し、日々の授業で実践しています。

「LCD」のLはリテラシーです。リテラシーとはもともと「読解記述力」という意味ですが、現在では文章や人の話や各種情報を適切に理解し・解釈し・分析し、そして自分の考えを文章に纏め発表する力、すなわち言い換えると基礎学力と同じような意味に使われています。リテラシーが不足すると、いくら人柄がよく人に好かれる人でも、組織を統括し人を指導する立場になると、限界が見えて

きます。企画力がないたため、人から頼りにされなくなるのです。

この力を育てるためには、本を読み、人々から有益な話を聞き、さらにその内容を深掘して調べ文章に纏めて発表する日々の訓練、すなわち研究や実習や討論ベースの学習が有効です。従って本学の学びではレポート課題が非常に多くなっています。物事を掘り下げて考え、文章を纏める楽しさをぜひ身につけてください。

次に「LCD」の C はコンピテンシーです。私はこの学園に来る前は一般企業に勤めており、人事の仕事を16年あまり経験しました。従業員を採用するときには当初はペーパーテストを重視しておりましたが、基礎学力のペーパーテストだけではどうしても良い人は採用できない。そこで、コンピテンシーすなわち仕事ができる人が共通して持っている行動特性・意識特性を把握するための面接試験を重視することとしました。勉強はよくできたけれども、仕事はできないという人は世の中にならいます。頭は良いけれども、行動特性に問題のあるケースです。私たちが人々に信頼され人の役に立つには、このリテラシーとコンピテンシーのバランスの取れた能力を養うことが必要です。

「人として成熟し自立した意識を持っているか」「自己革新意識・向上意欲は高いか」「他人との親密性・チームワークは良いか」「戦略的思考や視点の広さや深さは持っているか」「情報収集力や発信力はあるか」「アイデア創出力はあるか」「リーダーシップ・ストレス耐久性はあるか」などです。

これらのコンピテンシーの力は従来型の教室の一方通行の授業だけでは身につけません。外部のソーシャルタッチポイントを求めてのアクティブラーニング・課題解決型のPBL授業・多彩なインターンシップ・海外交流授業・学内外の多様なコンペティションなど本学には他者との交流の中で自分を磨くことが必要で、そのような機会が本学には沢山あります。クラブ活動も極めて活発です。これらに対して積極的に参加してください。「打たないシュートは入らない」と言いますが、観客としてこれらの人間力向上の機会を傍観視するのではなく、是非積極的に参画し、日々数々のシュートを打つ人間になってください。

「LCD」の最後のDはディグニティーすなわち人間の品性・人格・尊厳です。本日大阪成蹊大学に入学された皆さんは、これからの長い人生の中で、決して些細な欲や短絡的な感情や、僅かな

金銭に溺れることの絶対がない、誇り高い人生を送っていただきたいと思います。

人としての尊厳こそが、「人間力」の最も大切な要件です。

インドのラージ・ガードにあるガンディー首相の慰霊碑には「7つの社会的な罪」として次の戒めの言葉が刻まれています。

- 1、理念なき政治
- 2、労働なき富
- 3、良心なき快樂
- 4、人格なき学識
- 5、道徳なき商業
- 6、人間性なき科学
- 7、献身なき信仰

小さな罪の積み重ねにより、大きな罪を犯す品格のない人間にならないでください。「LCD教育」の基本は優れた能力と豊かな人間力を持ち、正々堂々とした生き方ができる人材の育成にあります。

私たち教職員は、皆さんの人間力向上のために全力をあげサポートする覚悟です。

大阪成蹊学園における皆さんの健闘を祈念し、歓迎の祝辞とします。

2021年4月1日

学校法人 大阪成蹊学園

理事長・総長 石井 茂